

# 一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第7回 通常総会開催

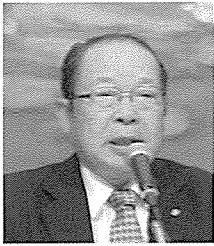


一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第7回 通常総会が6月29日(金)午後2時からANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(名古屋市中区)で会員456名(委任状を含む。)が出席して開催されました。

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会 第7回 通常総会は、常務理事 中野兼司氏の司会進行で進められ、開会前に中野氏より「一般社団法人愛知県産業廃棄物協会の上部団体である公益社団法人全国産業廃棄物連合会が今年4月に公益社団法人全国産業資源循環連合会に名称が変更になりました。もう一点は当協会の会長でいらっしゃる永井良一様が本年2月から故石井会長の後任として、公益社団法人全国産業廃棄物連合会の会長に就任されておられま

したが、去る6月15日に開催されました第8回定時総会におきまして会長に再任されたことをご報告いたします。愛知県の協会の会長が全国会長になるのは初めてのことでありますし、我々協会員にとっても大変名誉なことでもあります。永井会長おめでとうございます。」とのお知らせがあり、永井会長に会場から拍手が贈られました。

総会は副会長 小島 晃氏の開会の辞にて始まりました。開会の挨拶で永井会長は「一般社団法人とし



開会の辞を述べる  
小島副会長



開会挨拶をする  
永井会長

て活動し始めてから早くも7年目となる総会であります。昨年度を振り返りますと、公益社団法人全国産業資源循環連合会がまとめました廃棄物処理法の見直しの29項目の要望の一部が昨年6月16日に公布された改正廃棄物処理法に反映されました。連合会では、残った要望につきましても、引き続き環境省等に働きかけていくこととしています。特に、平成29年2月14日の中央環境審議会の意見

具申に反映されている事項、例えば市町村において適正処理が困難とされる廃農薬・廃薬品類等の残置物の対策、また、優良認定制度や再生利用指定制度、欠格要件等の各種制度の見直しのほか、都道府県等の関係者による意見交換の場の設定など、意見具申において取り上げられた要望事項についても具体的に実施するよう強く求めていくこととしています。

一方、環境省は廃棄物規制課内に『産業廃棄物処理振興チーム』を平成30年1月31日に設置し、全産連の要望、優良認定制度の見直し、振興方策提言の具体化等について検討し、できるところから実施に着手する方針を打ち出しています。また、全国産業資源循環連合会では、昨年10月11日に資源循環を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案（仮称）大綱を公表しました。



本年度は、産業廃棄物処理産業の振興によって環境負荷ができる限り低減される循環型社会の実現の促進に向け、更に一歩進め、具体的な法案検討、そして、国会への法案上程に向けての関係者への働きかけなど、（公社）全国産業資源循環連合会と一体となり、実現に向けて取り組んでいくこととなります。

さて、一昨年4月に発生した熊本地震では、289万トンもの災害廃棄物が発生し、その処理もほぼ終了しましたので、今後は一刻も早い被災地の復興を願っています。この地方に目を向けますと、南海トラフ巨大地震が、今後30年以内に70%から80%の確率で発生するといわれており、この地震により発生する災害廃棄物は最大約3億5千万トンとも推定され、建物被害・人的被害は甚大なものと予測されています。6月18日早朝には大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生し、死傷者が出るなど、大きな混乱が発生しました。

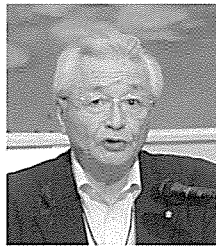
当協会では、万一被災にあった場合に、迅速かつ適正に対応していくため『災害廃棄物処理対策に関する特別委員会』を中心として、業務継続計画（BCP）を策定し、市町村との顔の見える関係の構築を掲げ、万全な備えとなるよう取組みを進めています。また、県内全54市町村と締結した協定に基づき、着実な防災体制を築き上げていくよう努めてまいります。あってはならないことですが万一被災した場合には、会員の皆様が日頃培った分別・収集、処理のノウハウや、会員企業が持つ資機材の活用と機動力が是非とも必要であり、災害発生時には、全面的な支援・協力をお願いしたいと考えています。

さて、私どもの業界は、日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところであり、製造品出荷額等が39年連続日本一を続ける、この『ものづくり愛知』を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。

当業界を取り巻く景況動向は、まだまだ厳しい経営環境の中ではありますが、将来に向かって、更なる発展をしていくためには、環境配慮契約法への適切な対応や、優良認定制度に基づく優良産業廃棄物処理業者の育成など、取り組むべき課題は多くあります。今後とも、会員の皆様と力を合わせ、資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現等に努力してまいりたいと考えております。」と述べました。



議長の近藤常務理事



議案説明をする  
渡邊専務理事

議案審議は、議長に常務理事 近藤千雅氏、議事録署名人として、近藤議長、永井良一氏、伊藤泰雄氏、新美三良が選任され審議が始まりました。

■第一号議案 平成29年度事業報告承認について

■第二号議案 平成29年度収支決算報告承認について

第一号議案と第二号議案は関連があるため一括審議され、専務理事 渡邊 修氏より説明があり、監事 石川信夫氏から監査報告の後、議案は承認されました。

全ての議案審議が終了し、近藤議長は議長を退任され、閉会の辞を副会長 平沼辰雄氏が述べ総会は閉会しました。



閉会の辞を述べる  
平沼副会長



■平成30年度

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 役員名簿

役 職	氏 名	会社名・役職
会 長	永井 良一	永一産商(株) 代表取締役
副会長	小島 晃	(株)明輝クリーナー 取締役会長
副会長	平沼 辰雄	(株)リバイブ 代表取締役会長
専務理事	渡邊 修	(一社)愛知県産業廃棄物協会 専従役員
常務理事	近藤 千雅	中部保全(株) 常務取締役
常務理事	中野 兼司	(株)東伸サービス 代表取締役
理 事	加山 昌弘	加山興業(株) 取締役会長
理 事	新家 義彦	(有)ホクトサービス 代表取締役
理 事	金田 英和	サンコーリサイクル(株) 代表取締役
理 事	伊藤 泰雄	(株)ダイセキ 専務取締役
理 事	新美 三良	(有)三洋サービス 代表取締役社長
理 事	富田 昭夫	(株)富田商店 代表取締役
理 事	相木 徹	オオブユニティ(株) 代表取締役
理 事	松井 忠博	(有)松井工業 代表取締役
理 事	金田 英治	三洲土木(株) 代表取締役
理 事	天野 邦彦	岡崎技研(株) 代表取締役
理 事	川合 邦史	(有)リプロ 代表取締役
理 事	中嶋 政秋	長坂建設興業(株) 常務取締役
理 事	佐藤 明生	東亜合成(株) 執行役員名古屋工場長
理 事	土田 浩通	(一社)愛知県建設業協会 上席
理 事	東久保真弓	(有)愛知環境センター 代表取締役
理 事	近藤 大樹	中部保全(株) 所長
監 事	石川 信夫	(有)アイミ 代表取締役会長
監 事	鶴山 圭一	(株)星野産商 専務取締役

## 平成30年度 一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 会長表彰

総会終了後会長表彰が行われ、協会事業に貢献された「功労者」表彰3名、模範となり県の産業廃棄物処理業に寄与された「優良事業所」表彰3社、同一事業所勤続10年以上で他の規範となる者として「優良従事者」表彰13名に、永井会長から表彰状と記念品が手渡されました。



永井会長と功労者表彰を受賞された皆さん

### [功労者表彰]

熊澤 修次	フルハシEPO株式会社 (名古屋支部)
富田 昭夫	株式会社 富田商店 (尾張西支部)
金田 英治	三洲土木株式会社 (尾張北支部)



永井会長と優良事業所表彰を受賞された皆さん

### [優良事業所表彰]

株式会社 アグメント/代表者 今津悠見	(尾張南支部)
岡崎技研株式会社/代表者 天野邦彦	(西三河支部)
株式会社 ダイワ/代表者 津田治秀	(東三河支部)



永井会長と優良従事者表彰を受賞された皆さん

### [優良従事者表彰]

近藤総一郎	近藤産興株式会社 (名古屋支部)
周戸 智保	株式会社 ダイセキ (名古屋支部)
大岩 憲幸	株式会社 力組 (名古屋支部)
江上 吉一	有限会社 ホクトサービス (尾張西支部)
鬼頭 学	丸真株式会社 (尾張西支部)
松本 幸次	株式会社 東伸サービス (尾張北支部)
岩渕 滋	株式会社 リョクリン (尾張北支部)
堀切 勝善	株式会社 テクア (尾張南支部)
平島 啓司	トーエイ株式会社 (尾張南支部)
藤田 末弘	有限会社 生駒組 (西三河支部)
加藤 秀夫	有限会社 O. W. M (西三河支部)
飯尾 裕之	株式会社 ミダック (東三河支部)
鈴木 正敏	株式会社 加藤解体工業 (東三河支部)

# 愛産協 永井会長が全産連の会長へ 行政・各界から応援の言葉が贈られた懇親会

懇親会は午後5時から同ホテル7階ザ・グランコートにおいて320名が参加して開催されました。

開会の辞を副会長 小島 晃氏が述べ、会長挨拶で会長 永井良一氏は「一昨年4月に発生した熊本地震では289万トンもの災害廃棄物が発生し、その



開会挨拶をする  
永井会長

処理もほぼ終了しました。一方、この地域においては、南海トラフを震源とする巨大地震が、今後30年以内に発生する確率が70から80%といわれています。また6月18日の早朝に大阪府北部を震源とする震度6弱の

地震が発生し、死傷者が出るなど大きな混乱が発生しました。当協会においてもあってはならない災害ですが、万一災害が発生した場合には、復旧・復興のため行政機関をはじめとする関係機関との連携を密にし、迅速・的確に対応できるよう、会員の皆様はもとより、広域に及ぶ場合は、全国産業資源循環連合会等との連携を図り、相互協力が円滑に行えるよう、体制をしっかりと整備していくこととしております。私どもの業界は、日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところで

あり、製造品出荷額等が39年連続日本一を続ける、この『ものづくり愛知』を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。このことを、地域社会の人々に、正しく評価・理解をしていただくために、会員の皆様と一体となって、各種の社会貢献を通じ、努力を積み重ね、更なる協会の発展を目指してまいりますと存じますので、皆様方の全面的なご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。」と述べました。



来賓挨拶をする  
大村愛知県知事

来賓の挨拶では愛知県知事 大村秀章氏より「47都道府県別の県内総生産が出てきましたが、今年初めて愛知が大阪を抜いて2位になりました。大阪の人口は880万人、愛知は750万人と大阪よりも人口は少ないので

すが、経済の大きさでは大阪を抜きました。というのも、愛知の産業は4割強が製造業であり、大阪は2割です。この愛知の製造業が回っていくには、循環をしていかななくてはならないので、産業廃棄物業界の皆様のお力が非常に大きいということです。環境面においてトップランナーとして頑張ってください。」と述べました。

自由民主党副幹事長参議院議員 酒井庸行氏は「熊本地震の災害廃棄物の処理はほぼ終了しましたが、過日大阪で大きな地震がありました。私は今、参議院の災害対策特別委員会の筆頭理事をしております。実は来週特別委員会を開催いたします。大阪の地震があったときだからこそ、委員会を開きいろいろなご意見を承り皆様にご報告をいたします。また、環境省から昨年の5月に資源循環を促進するための産業廃棄物処



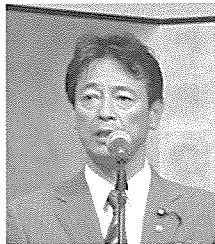
来賓挨拶をする  
酒井参議院議員



開会の辞を述べる小島副会長と来賓の皆さん

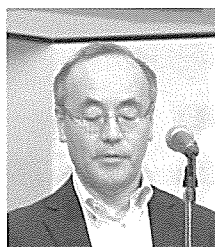
理業の振興方策に関する提案がされています。皆様からもそれに関する提案書が提出されています。これから内容を精査して法案をしっかりと作り上げて参りますので、よろしくお願いたします。」と述べました。

自由民主党衆議院議員 工藤彰三氏は「私は災害対策特別委員会の委員として様々な災害の現場に携わってきました。特に災害におけるがれきの処理につきましては、皆様方のお力が必要です。愛知県は南海トラフ巨大地震の災害指定の重点拠点となっております。それに備えることと、その後の復旧、復興に対して更に皆様方の尽力をお願いしたいと思っております。」と述べました。



来賓挨拶をする  
工藤衆議院議員

環境省中部地方環境事務所所長 三村起一氏は「今後30年以内に高い確率で発生が予想されている南海トラフ巨大地震についてですが、これまで発災直後からの対処方法の整備やライフラインの確保が行われてきました。一方で、これらの前提になっている地震の発生のメカニズムについては、かなり現実的に発生が高まっております。



来賓挨拶をする  
中部地方環境事務所  
三村所長

当事務所において皆様方から相談を受けた場合どのような対応をすべきなのか、検討を進めなくては



直江愛知県議会議員による乾杯

いけないと話し合っております。いずれにしても災害時における災害廃棄物の対応については、皆様方のご協力が不可欠ですので、広域連携に向けた取組につきましては今後ともよろしくお願いたします。」と述べました。

その後、参議院議員の片山さつき氏からのメッセージが代読され、壇上の来賓の方々の紹介がありました。

乾杯の発声で愛知県議会議員 直江弘文氏は「(公社)全国産業資源循環連合会と団体名が変わり、資源循環社会にふさわしい名前になりました。皆様は静脈産業という新しい産業を生み出しておりますので、自信を持ち益々のご活躍を願っております。」と述べました。一斉に乾杯の音が響き、会食が始まり会員同士の親睦が深まる懇親会が行われました。閉会の辞は平沼辰雄副会長が述べ会はお開きとなりました。

懇親会来賓者一覧

(順不同・敬称略)

愛知県知事	大村 秀章	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会
自由民主党副幹事長 参議院議員	酒井 庸行	副会長 岩間 雄一
自由民主党衆議院議員	工藤 彰三	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会
自由民主党政務調査会長代理 参議院議員	片山 さつき様 (秘書)	専務理事 松浦 敏明
愛知県議会議員	野尻 護	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 会長 木村 亮一
環境省中部地方環境事務所	直江 弘文	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会
環境省中部地方環境事務所	所長 三村 起一	専務理事 筒井 照雄
廃棄物・リサイクル対策課 課長 水原 健介		愛知県中小企業団体中央会 労働企画部長 太箸 俊一
廃棄物対策等調査官 板倉 克宏		一般社団法人 愛知県建設業協会 上席 土田 浩通
愛知県環境部長 森田 利洋		愛知県衛生事業協同組合 副理事長 樋口 隆
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 理事長 粥川 長司		愛知県衛生事業協同組合 事務局長 伊藤 勝至
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会		名古屋市一般廃棄物事業協同組合 理事長 新美 三良
専務理事 伊藤 誠紀		名古屋市一般廃棄物事業協同組合 事務局長 工藤 淳